

二町内自治会新聞

一年をふり返って

政治問題

一、昨年を振り返るとい
ろんな事がありました。
初めに小泉政権から安
倍さんに代わりました。

新政権になって、安倍
首相がこれまで懸案だっ
た中国、韓国を訪問し、
首脳会談が実現した事
は、大変良かったと思っ
ます。

内政面では、前政権の
行政改革を続けることを
打ち出した直後に主要閣
僚の中から、二人三人と
黒い霧が発生して、前途
多難な船出となりました
安倍首相には、リーダー
シップを発揮して、日
本丸の舵取りをしつかり
やって欲しいと思います
二、次は県知事の不祥事
が挙げられます。
福島、和歌山、宮崎県
の知事が公共事業の入札
で談合を指示し、不当な
利益を得た疑いで逮捕さ

れました。

知事の声は、天の声と
も言われるように知事の
権限は、絶大なものがあ
ります。従って、公正さ
公平さが要求されます。
選挙で掲げた公約や住
民の福祉、利益の為に全
力をそそぐべきです。

三県の知事は、私事を
優先したため、職員の綱
紀は乱れ、有能な部下を
悪に巻き込んでしまうこ
とになった。
ひいては、住民に多大
の不信と損害を与える事
になりました。

三県の問題は、氷山の
一角であるように思われ
ます。我が熊本県をこの
ような県にしてはならな
いと思います。
三、今年も、統一地方選
挙の年でもあり、有権者
は、もっと政治に関心を
持ち、立派な代表を選ば
うではありませんか。今
までのように棄権者が多

事務局
村上徹郎
TEL
368-5384
住所
健軍本町
26-3

く投票率の低い選挙で
は、良い政治家は育ちま
せん。

熊本市、熊本県、日本
国を良くするためには、
先ず選挙民が変わらなけ
ればなりません。

選挙には、必ず参加し、
その後も見守り、是は是
否は否を正すべきだと思
います。そうすれば政治
家は常に緊張感を持つ
て、住民のための政治を
志すものと思います。

社会問題

一、いじめによる自殺者
の問題 これは、十
二月の新聞で述べた
ので省きます。首相
直属の審議員の皆さん
に頑張ってもらいま
さい良い法策を出してほ
しいと思います。

二、親の子育て放棄
我が子に食事を与え
なかつたり、暴力を
ふるって死にいたら
しめる。
三、子が親に暴力、死に
至らしめる。

動物の世界でもありえ
ないことですね。
家庭に教育力がなければ
学校や地域が密接な連
携を取りながら子ども達
を守ってやろうではありませんか。

四、飲酒運転
福岡県で市の職員が飲
酒運転で子ども達の列に
突っ込み、四人の子どもが
死亡する事故が起きた。

このニュースは、全国版
で新聞、テレビで何回も報
道された。日本国中誰もが
見ていたはずである。
次の日に警察がネズミ
捕りを実施したところ、五
十名近くの人が網にかか
ったそうです。

この事実を皆さんは、ど
う思われますか。あきれて
物も言えませんか。
交通違反は他の刑事事
件より軽いと思っている
のではないのでしょうか。罪
の意識が無さ過ぎると思
います。飲酒運転で三人も
四人もひき殺したなら一
級殺人にすべきではない
でしょうか。又再犯は、事
故に関係なく厳罰にすべ
きだと思います。

町内の募金活動について

皆様のご協力により、
沢山の募金が集まりまし
た。平成十八年の活動実
績を報告します。

- 緑の羽根募金
六万二千五百円
- 日赤共同募金
六万八千六百元
- 共同募金
六万九千円

合計十九万二千五百円
自治会からの三十六万
円と合わせて
五十五万二千円を三団
体へ納めさせて頂きま
した。皆さんのご協力
有難う御座いました。

健軍本町公園愛護会

本来は、町内の皆さん
全員が会員になるべきだ
と思います。現在は、老
社会の皆さんが四月から
十二月まで各月の十一の
つく日早朝より、公園清
掃、花壇の花植え、手入
れ、植木の剪定等をやっ
ておられます。お陰でど
この公園よりも美しい公
園になっております。

又この公園の自慢は、
ラジオ体操クラブがあつ
て、会員の皆さんが毎朝
体操の前に公園のゴミを
拾っておられます。

午前中はゴミゼロの本
当に美しい公園です。
公園の決まりは、「ゴミ
持ち帰り」が原則です。
町内の皆さんも『ゴミ
ゼロ運動』にご協力くだ
さい。

公園の下水道

本町公園は、子どもか
らお年寄りまで大変賑や
かな公園です。時々困つ
た事があります。

最近、砂場の砂を流し
の所へ持って行き、遊ぶ
子どもがいます。その砂
が下水管に流れて、詰ま
ってしまうのです。
どうぞ砂を流さないよ
うに御願ひします。

一年の保護者より

子ども
を守る会のおじいちゃん
おばあちゃんへ『感謝の
メッセージ』を添えて「
ハッピーホット(カイロ)
をいただきました。大変
嬉しく思いました。

訂正

十二月号のいじめに
ついて「武士道」の筆者
は新渡戸稲造ですが同志
社大学の創始者は、新島
謙でした。お詫びして訂
正します。